

取組・評価書（住宅用途）

第1 基準に適合するための措置及びその適合状況

1 省エネルギー性能基準		
適合するための措置	基準の適用	基準の適合状況
(1) 建築物の熱負荷の低減に関する基準		
ア 外皮平均熱貫流率 [W/(m ² ・K)]		
イ 住宅仕様基準 []		
(2) 設備システムのエネルギー利用の低減に関する基準		
ア 住宅用途BEI []		
イ 住宅仕様基準 []		
2 再生可能エネルギー利用設備設置基準		
適合するための措置	基準の適用	基準の適合状況
(1) 建築面積に5%を乗じた面積 [m ²]		
(2) 設置可能面積 [m ²]		
(3) (1) 又は (2) のいずれか小さい面積×0.15kW/m ² [kW]		
(4) 上限値又は下限値の適用 [上限値が適用される・下限値が適用される・適用されない]		
(5) 設置基準容量（定格出力） [kW]		
(6) 定格出力の合計（ア、イ、オ、キの定格出力の合計） [kW]		
ア 特定建築物等における再生可能エネルギー利用設備設置量（定格出力） [kW]		
（ア）太陽光発電設備（定格出力） [kW]		
（イ）その他の再エネ発電設備（定格出力） [kW]		
a 風力発電設備 [kW]		
b バイオマス発電設備 [kW]		
c その他の設備 [] [kW]		
（ウ）（ア）及び（イ）以外の再エネ利用設備（定格出力） [kW]		
a バイオマス熱利用設備 [kW]		
b 太陽熱利用設備 [kW]		
c 地中熱利用設備 [kW]		
d その他の設備 [] [kW]		
イ 特定建築物等以外における再エネ発電設備設置容量（定格出力） [kW]		
（ア）供給方式 []		
（イ）太陽光発電設備（定格出力） [kW]		
（ウ）風力発電設備（定格出力） [kW]		
（エ）バイオマス発電設備（定格出力） [kW]		
（オ）その他の設備（定格出力） [kW]		
ウ ア又はイの措置が実施できない理由 []		
エ 小売電気事業者から供給を受ける電気（イに該当するものを除く。）の再生可能エネルギー量 [kWh]		
オ エの定格出力に相当する量 [kW]		
カ 特定建築物において使用する環境価値の量（エに該当するものを除く。） [kWh]		
キ カの定格出力に相当する量 [kW]		
ク エ及びカの措置において、継続的に当該措置を実施する計画の有無 [有・無]		
(7) その他の知事が別に定める再生可能エネルギーの利用に係る措置 []		

3 電気自動車充電設備整備基準

適合するための措置	基準の適用	基準の適合状況
(1) 専用駐車場 ア 駐車施設の区画数 [区画] イ 整備基準 [区画] (ア) 充電設備の整備 a 駐車施設の区画数に20%を乗じた値 [区画] b 上限値の適用 [適用される・適用されない] c 区画数 [区画] (イ) 配管等の整備 a 駐車施設の区画数に50%を乗じた値 [区画] b 上限値の適用 [適用される・適用されない] c 区画数 [区画] ウ 整備区画数 (ア) 充電設備の整備数 (aからcまで及びeの合計) [区画] a 充電用コンセント [区画] b 普通充電設備 [区画] c V2H充放電設備 [区画] d 急速充電設備 [区画] e 急速充電設備の普通充電設備等に相当する区画数 [区画] (イ) 配管等のみの整備数 (aからcまで及びeの合計) [区画] a 充電用コンセント用配管等 [区画] b 普通充電設備用配管等 [区画] c V2H充放電設備用配管等 [区画] d 急速充電設備用配管等 [区画] e 急速充電設備の普通充電設備等に相当する区画数 [区画]		
(2) 共用駐車場 ア 駐車施設の区画数 [区画] イ 整備基準 [区画] (ア) 充電設備の整備 a 区画数 [区画] (イ) 配管等の整備 a 駐車施設の区画数に20%を乗じた値 [区画] b 上限値の適用 [適用される・適用されない] c 区画数 [区画] ウ 整備区画数 (ア) 充電設備の整備 (aからcまで及びeの合計) [区画] a 充電用コンセント [区画] b 普通充電設備 [区画] c V2H充放電設備 [区画] d 急速充電設備 [区画] e 急速充電設備の普通充電設備等に相当する区画数 [区画] (イ) 配管等の整備 (aからcまで及びeの合計) [区画] a 充電用コンセント用配管等 [区画] b 普通充電設備用配管等 [区画] c V2H充放電設備用配管等 [区画] d 急速充電設備用配管等 [区画] e 急速充電設備の普通充電設備等に相当する区画数 [区画]		

- 備考 1 適合するための措置の欄中「[]」には、当該基準の適用がある場合に該当する事項に○印又は必要事項を記載すること。
- 2 当該基準の適用がある場合は基準の適用の欄に「適用する」と記載し、適用がない場合は「適用しない」と記載すること。
- 3 当該基準の適用があり、当該基準に適合する場合は適合状況の欄に「適合」と記載し、当該基準に適合しない場合は「不適合」と記載すること。

第2 環境への配慮のための措置及びその取組状況

分野	1 エネルギーの使用の合理化及び再生可能エネルギーへの転換		
区分	(1) 建築物の熱負荷の低減		
細区分	ア 建築物外皮の熱負荷抑制		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 判断基準			段階3
a 仕様基準[]			段階2
b 性能基準[]			段階1
(イ) 外皮平均熱貫流率の計算方法[]			段階未滿
(ウ) 外皮平均熱貫流率の最大値[W/(㎡・K)]			記載を省略
(エ) 冷房期の平均日射熱取得率の最大値[]			
(オ) 暖房期の平均日射熱取得率の最小値[]			
(カ) 開口部の熱貫流率の最大値[W/(㎡・K)]			
区分	(2) 再生可能エネルギーの利用		
細区分	ア 再生可能エネルギーの直接利用		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 全住戸数[戸]			段階3
(イ) 窓が2方向以上に面している住戸数 (戸建住宅の場合は室数) [戸 (室)]			段階2
採光を満たす住戸の割合[%]			段階1
(ウ) 換気口又は窓が2方向以上に面している住戸数 (戸建住宅の場合は室数) [戸 (室)]			段階未滿
通風を満たす住戸の割合[%]			記載を省略
細区分	イ 再生可能エネルギーの変換利用		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 再生可能エネルギー利用設備設置基準の適用[適用する・適用しない]			段階3
(イ) 設置基準 (定格出力) [kW]			段階2
(ウ) 太陽光発電設備 (定格出力) [kW]			段階1
(エ) 太陽熱利用 (定格出力) [kW]			段階未滿
(オ) 地中熱利用 (定格出力) [kW]			記載を省略
(カ) (ウ) 以外の再エネ発電設備 (定格出力) [kW] その他の再エネ発電設備の詳細[]			
(キ) (ウ) (エ) (オ) (カ) 以外の再エネ利用設備 (定格出力) [kW] その他の再エネ利用設備の詳細[]			
(ク) 再生可能エネルギー利用設備の設置合計容量 (定格出力) [kW] 再生可能エネルギー利用設備設置基準に対する比率 [倍]			
細区分	ウ 電気の再エネ化率		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 建築物等における電気使用量 (想定) (E) [kWh/年]			段階3
(イ) 建築物等に設置する再エネ発電設備による発電の使用量 (想定) (A) [kWh/年]			段階2
(ウ) 建築物等以外に設置する再エネ発電設備による発電の使用量 (想定) (B) [kWh/年]			段階1
(エ) 小売電気事業者による再生可能エネルギー電気の供給 (想定) (C) a 電気の供給量 [kWh/年] b aの電気の再生可能エネルギーの割合 [%] c aの電気のうち、再生可能エネルギー電気の量 [kWh/年]			段階未滿
(オ) 建築物において使用する環境価値の量 (想定) (D) [kWh/年]			記載を省略
(カ) 再生可能エネルギー電気の合計量 (想定) [kWh/年]			
(キ) 電気の再エネ化率 [%]			

区分	(3) 省エネルギーシステム		
細区分	ア 設備システムの高効率化		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 判断基準			段階3
a 仕様基準[]			段階2
b 性能基準[]			段階1
(イ) 住宅用途BEIの計算方法[]			段階未満
(ウ) a 住宅用途BEI[]			記載を省略
b 一次エネルギー消費量（住宅部分合計） 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]			
c 一次エネルギー消費量（共用部（ゲストルーム）） 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]			
d 一次エネルギー消費量（共用部） 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]			
e 一次エネルギー消費量（合計値） 設計値[GJ/年] 基準値[GJ/年]			
(エ) 東京ゼロエミ住宅・ZEHに係る事項[]			
(オ) 主たる居室の暖房設備・冷房設備に係る事項[]			
(カ) 換気設備に係る事項[]			
(キ) 給湯設備に係る事項			
a 熱源機の種類[]			
b 熱源機の種類[]			
c 台所水栓[]			
d 浴室シャワー水栓[]			
e 洗面水栓[]			
(ク) 照明設備に係る事項[]			
a 照明器具[]			
b 制御システムの構築に係る事項[]			
(ケ) コージェネレーション[]			
(コ) その他設備[]			

区分	(4) エネルギーマネジメント		
----	-----------------	--	--

細区分	ア 最適運用のための予測、計測、表示等及びエネルギーの需給調整を最適化する機能の導入		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 住戸の電気使用量の確認・分析・管理機能			段階3
[単位住戸の電気使用量について、分電盤の主要な分岐回路別及び時刻別に、当該住戸の居住者が確認、分析及び管理できる機能（表示機能を含む。）を有するシステムを、全ての住戸に導入している]			段階2
			段階1
			段階未満
(イ) 住戸の最大需要電力の把握に係る事項			記載を省略
[単位住戸の電気使用量を60分単位で計測し、当該量のデータを一定期間保有して、当該住戸の居住者が確認できる機能（表示機能を含む。）を有するシステムを、全ての住戸に導入している・単位住戸の過去1年間以上の最大需要電力及び最大需要電力となった日時を、当該住戸の居住者が確認できる機能（表示機能を含む。）を有するシステムを、全ての住戸に導入している・住戸ごとに最大需要電力の上限値を設定することができ、需要電力が当該上限値を上回る可能性がある場合に、当該住戸の居住者が確認できる機能（表示機能を含む。）を有するシステムを、全ての住戸に導入している]			
点数[]			
(ウ) 住戸のダイヤモンド制御及び需給調整に係る事項			
[住戸に設置する電力需要機器を、当該住戸の居住者が遠隔で運転、停止等の操作ができる機能を有するシステムを、全ての住戸に導入している・単位住戸のダイヤモンド制御を行うことができる機能を有する蓄電池を、全ての住戸に設置している・住戸に設置する電力需要機器及び蓄電池が単位住戸の最大需要電力に応じた自動制御を行い、住戸ごとのダイヤモンド制御ができる機能を有するシステムを、全ての住戸に導入している]			
蓄電池の定格容量[kWh]			
点数[]			

(エ) 住宅全体のディマンド制御及び需給調整に係る事項	
<p>[建築物全体の最大需要電力を把握して上限値を設定し、需要電力が当該上限値を上回る可能性がある場合に、住戸の居住者が確認できる機能（表示機能を含む。）を有するシステムを、全ての住戸に導入している・建築物全体又は共用部における最大需要電力を把握して上限値を設定し、需要電力が当該上限値を上回る可能性がある場合に、共用部における電気需要機器により、ディマンド制御ができる機能を有するシステムを導入している・ディマンド制御及び電気の需給調整時に需要電力の調整ができる機能を有する蓄電池（単位住戸に設置するもの及び非常用のものを除く。）又はV2H充放電設備を設置している・建築物の管理規定等において、当該建築物の共用部におけるディマンド制御及び電気の需給調整の内容について、当該建築物の居住者へ周知し、協力を得る計画としている]</p>	
蓄電池の定格容量[kWh]
点数[]

分野	2 資源の適正利用
----	-----------

区分	(1) 持続可能な低炭素資材等の利用
----	--------------------

細区分	ア 躯体材料における低炭素資材等の利用		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 低炭素資材の利用に係る事項 [木材・木材（国産材）・低炭素コンクリート・リサイクル鋼材] 点数[]			段階3
			段階2
(イ) リサイクル材の利用等に係る事項 a グリーン購入法の特定調達品目 [高炉スラグ骨材・フェロニッケルスラグ骨材・鋼スラグ骨材・電気炉酸化スラグ骨材・高炉セメント・フライアッシュセメント] b 東京都環境物品等調達方針（公共工事）の特別品目 [再生骨材を用いたコンクリート・再生骨材を用いたレディーミクストコンクリート] c 既存建築物の躯体の再利用 [基礎・基礎杭・壁・柱・その他] 点数[]			段階1
			段階未満
			記載を省略

細区分	イ 躯体材料以外における低炭素資材等の利用		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 低炭素資材の利用に係る事項 [木材・木材（国産材）・低炭素コンクリート・リサイクル鋼材] 点数[]			段階3
			段階2
(イ) リサイクル材の利用に係る事項 a グリーン購入法の特定調達品目 [] [] b 東京都環境物品等調達方針（公共工事）の特別品目 [] [] 点数[]			段階1
			段階未満
			記載を省略

細区分	ウ 持続可能な型枠の利用		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) コンクリート用型枠の使用抑制に係る事項 [躯体のプレキャスト化等により、コンクリート用型枠材の使用の抑制に取り組んでいる]			段階3
			段階2
(イ) 使用するコンクリート用型枠の種類 [グリーン購入法の特定調達品目の再生材料を使用した型枠・グリーン購入法の特定調達品目の合板型枠（国産材合板を使用した型枠を除く。）・木材を使用しない型枠・国産材合板を使用した型枠]			段階1
			段階未満
			記載を省略

細区分	エ オゾン層の保護及び地球温暖化の抑制		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 断熱材用発泡剤の利用に係る事項 a 発泡剤を用いた断熱材等の使用の有無[有・無] b オゾン破壊係数[] c 地球温暖化係数[] 点数[]			段階3
			段階2
			段階1
			段階未満
			記載を省略
(イ) 空気調和設備用冷媒の利用に係る事項 a 空気調和設備の設置の有無[有・無] b オゾン破壊係数[] c 地球温暖化係数[] 点数[]			段階3
			段階2
			段階1
			段階未満
			記載を省略

区分	(2) 建設に係る環境負荷低減への配慮
----	---------------------

細区分	ア 建設時CO ₂ 排出量の把握・削減		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 建設時CO ₂ 排出量の削減に係る事項 [建設時CO ₂ 排出量の削減目標や方針を定め、当該削減目標等に基づいた設計を行っている又は設計業務の受注者に行わせている・建設工事現場におけるCO ₂ 排出量削減対策により、当該CO ₂ 排出量を20%程度削減している] 建設工事現場におけるCO ₂ 削減率[]%			段階3
			段階2
			段階1
			段階未満
			記載を省略
(イ) 建設時CO ₂ 排出量の算定・把握・公表に係る事項 a 主要構造部の建設時CO ₂ 排出量の算定・把握の有無[有・無] b 主要構造部の建設時CO ₂ 排出量 [] t (トン)] c 主要構造部の建設時CO ₂ 排出量内訳等の公表の有無[有・無] d 建設時CO ₂ 排出量(一部)の把握の有無 (aに該当するものを除く) [有・無] e dの把握の範囲 []			段階3
			段階2
			段階1
			段階未満
			記載を省略

細区分	イ 建設副産物の有効利用及び適正処理		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 建設発生土に係る事項 (設計又は建設工事発注の仕様書等への記載事項) [建設発生土を発生させない又は全て現場内利用すること・建設発生土の場外搬出において、建設発生土のトレーサビリティシステム等を活用して、搬出先までの移動経路を追跡し、実態の把握に努めること・建設発生土の場外搬出において、官民有効利用マッチングシステム等を活用して、工事間利用に努めること・建築工法や施工法等の選択により、建設発生土の発生抑制や削減に努めること・建設発生土の現場内利用に努めること・場外搬出する建設発生土の搬出先(名称・所在地)] 建設発生土の量[] 点数[]			段階3
			段階2
			段階1
			段階未満
			記載を省略
(イ) 建設廃棄物(建設汚泥)に係る事項 (設計又は建設工事発注の仕様書等への記載事項) [建設汚泥を発生させない又は発生した建設汚泥を全て自ら利用(現場内利用)すること・再資源化施設における中間処理方法及び中間処理後の搬入先を確認すること・最終処分場において適正処理がされていることを確認すること・建設汚泥の自ら利用(現場内利用)に努めること・建設汚泥を搬出する再資源化施設は、優良施設を選定するよう努めること・泥水を使用しない掘削方法の選択により、建設汚泥の発生抑制及び建設工事現場における縮減に努めること・場外搬出する建設汚泥の搬出先について、建設工事の受注者が建築主に事前及び事後の報告を行うこと] 建設汚泥の量[] 点数[]			段階3
			段階2
			段階1
			段階未満
			記載を省略

区分	(4) 持続可能な水の利用		
細区分	ア 雑用水利用		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
	(ア) 雑用水の種類 [雨水・再生水・循環利用水]		段階3
	(イ) 雑用水利用における取組 [雑用水を優先的に利用するとともに、雑用水の利用先において節水型機器を使用している・雑用水の平時の利用に加え、災害時にも利用できるシステムを備えている]		段階2
			段階1
			段階未滿
			記載を省略
細区分	イ 水使用の合理化		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
	(ア) 建築物等（全体又は共用部）における水使用量の把握等に係る事項 [年間水使用量の目標値（L/m ² ）を定めている・年間水使用量を把握し、年ごとの比較を行うことができる] 年間水使用量の目標値[(L/m ²)]		段階3
	(イ) 建築物等における水使用量の削減に係る事項 [主要水栓が節水型である・主要水栓以外の給水設備等において、節水型機器を使用している]		段階2
			段階1
			段階未滿
			記載を省略
分野	3 生物多様性の保全		
区分	(1) 水循環		
細区分	ア 雨水浸透		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
	(ア) 雨水浸透量[m ³ /hr]		段階3
	(イ) 雨水浸透の能力[mm/h]		段階2
			段階1
			段階未滿
			記載を省略
区分	(2) 緑化		
細区分	ア 緑の量の確保		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
	(ア) 地上部の緑化面積[m ²]		段階3
	(イ) 建築物上の緑化面積[m ²]		段階2
	(ウ) 総緑化面積[m ²]		段階1
	(エ) 敷地面積[m ²]		段階未滿
	(オ) 総緑化面積の敷地面積に対する割合[%]		記載を省略
細区分	イ 生きものの生息生育環境に配慮した樹木の確保		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
	(ア) 敷地面積[m ²]		段階3
	(イ) 樹木の植栽に係る事項 a 樹木による緑化面積（全体）[m ²]		段階2
	b 建築物上における樹木による緑化面積[m ²]		段階1
	c 建築物上樹木による割合[%]		段階未滿
	d 点数[]		記載を省略
	(ウ) 既存の樹木の保全に係る事項 a 既存樹木による緑化面積[m ²]		
	b 幹周り1m以上の大怪木の保存の有無[有・無]		
	c 点数[]		

(エ) 在来種の樹木の植栽に係る事項	
a 鳥類や昆虫類を効果的に誘引する実や花などをつける在来種の植物の種数	[種]
b 在来種樹木による緑化面積及び割合	高木 [m ²] [%] 中木及び低木 [m ²] [%]
c 在来種樹木の種数	高木 [種] 樹種 [] 中木及び低木 [種] 樹種 []
d	[地域の生態系に悪影響を及ぼす外来種に関し、適切な対応を行っている]
e	点数 []

細区分	ウ 生きものの生息生育環境に配慮した緑地等の形成
	取組状況
	評価基準の適用
	取組状況の評価
[当該敷地や建築物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている・生きものの生息生育環境としての目的を有する草地や水辺（樹木に覆われた区域以外で配置されているものであって、100㎡あるいは樹木に覆われた区域面積の1/5（水辺については1/10）のどちらか小さい面積以上の草地及び水辺）を配置している・落ち葉や剪定枝、石積みなどを利用した動物の生息場所を2か所以上設置している・バードバスや、鳥類や昆虫類が営巣できるように巣箱等を2か所以上設置している・生息場所を1か所、バードバスや巣箱等を1か所設置している・敷地の圏内に位置する生物多様性の拠点となる緑地とのエコロジカル・ネットワークの形成を行っている]	
	段階3
	段階2
	段階1
	段階未満
	記載を省略

細区分	エ 植栽による良好な景観形成
	取組状況
	評価基準の適用
	取組状況の評価
[植栽によって、沿道に緑の連続性が確保され、植栽が良好な景観形成に寄与している・隣接敷地や道路の既存樹木との調和やシンボル性に配慮した樹種を選定している・公道に面した平面駐車場等の空地について、植栽又は水面の配置により良好な景観形成に寄与している]	
	段階3
	段階2
	段階1
	段階未満
	記載を省略

細区分	オ 生きものの生息生育環境等に配慮した維持・管理・利用
	取組状況
	評価基準の適用
	取組状況の評価
[灌水設備を適正に配置している・適正な土壌容量等の植栽基盤を確保するとともに、緑地の土壌診断の実施とそれに伴う土壌環境の改善（有機肥料の投入、エアレーション、土壌の入れ替え等）を行う計画としている・巡回監視、樹木剪定、草刈り等の年間工程を計画し、当該計画において、100㎡あるいは樹木に覆われた区域面積の1/5のどちらか小さい面積以上について、昆虫類や鳥類の生息場所への配慮を目的とした草刈りや樹木剪定等の時期、範囲、高さ等の工夫を行うことを示している・病虫害対策等について実施方針を設定し、当該方針において、緑地の半分以上の区域において、病虫害の発生時のみ化学薬品を使用するものとし、予防的な散布としては使用しないことを示している・専門家による生物モニタリング等及びその結果の緑地等の維持管理への反映を計画している・当該建築物の利用者や地域住民が生きものとふれあい自然に親しむことのできる環境や施設等を確保している]	
	段階3
	段階2
	段階1
	段階未満
	記載を省略

分野	4 気候変動への適応
----	------------

区分	(1) ヒートアイランド対策
----	----------------

細区分	ア 建築物等からの熱の影響の低減		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 敷地と建築物の被覆対策に係る事項			段階3
a 緑地による対策面積(樹木、芝、草花) [m ²]		段階2
b 蒸散効率の低い植栽による対策面積(セダム等) [m ²]		段階1
c 水面による対策面積 [m ²]		段階未満
d 保水性被覆材による対策面積 [m ²]		記載を省略
e 高反射被覆材による対策面積 [m ²]		
f 再帰性建材による対策面積 [m ²]		
g 各対策評価面積の合計 [m ²]		
h 敷地面積 [m ²]		
i 各対策評価面積の合計の敷地面積に対する割合 [%]		
j 点数 []		
(イ) 風環境への配慮に係る事項			
a 夏の卓越風向 []		
b 夏の卓越風向に直交する見付面積 [m ²]		
c 夏の卓越風向に直交する最大敷地幅 [m]		
d 容積率の限度の値 [%]		
e 建蔽率の限度の値 [%]		
f 地上部分の平均階高 [m]		
g 基準高さ [m]		
h 見付面積比 [%]		
i 点数 []		

細区分	イ EV及びPHV用充電設備の設置		
	取組状況	評価基準の適用	取組状況の評価
(ア) 住宅用途の駐車施設の有無 [有・無]			段階3
(イ) 住宅用途の駐車施設の区画数			段階2
a 専用駐車場 [区画]			段階1
b 共用駐車場 [区画]			段階未満
c 合計 [区画]			記載を省略
d 主たる駐車施設の種別 [専用駐車場・共用駐車場]			
(ウ) 電気自動車充電設備整備基準が適用される駐車施設の種別	[専用駐車場・共用駐車場]		
(エ) 評価基準を適用する駐車施設 [専用駐車場・共用駐車場]			
(オ) 住宅用途の専用駐車場			
a 充電設備の整備基準 [区画]			
b 充電設備の整備区画数	普通充電設備 [区画]		
	充電用コンセント [区画]		
	V2H充放電設備 [区画]		
	急速充電設備 [区画]		
	急速充電設備の普通充電設備等に相当する区画数 [区画]		
	整備区画数の合計 [区画]		
c 電気自動車充電設備整備基準に対する比率 [倍]			
(カ) 住宅用途の共用駐車場			
a 充電設備の整備基準 [区画]			
b 充電設備の整備区画数	普通充電設備 [区画]		
	充電用コンセント [区画]		
	V2H充放電設備 [区画]		
	急速充電設備 [区画]		
	急速充電設備の普通充電設備等に相当する区画数 [区画]		
	整備区画数の合計 [区画]		

分野別の取組状況の評価	段階3の数	段階2の数	段階1の数	適用する細区分数
1 エネルギーの使用の合理化及び再生可能エネルギーへの転換				
2 資源の適正利用				
3 生物多様性の保全				
4 気候変動への適応				
全分野合計				

- 備考 1 取組状況の欄中「[]」には該当する事項に○印又は必要事項を記載すること。
- 2 当該評価基準の適用がある場合は評価基準の適用の欄に「適用する」と記載し、適用がない場合は「適用しない」と記載すること。
- 3 取組状況の評価の欄は、取組状況の評価に応じて該当する段階に○印を記載すること。
ただし、評価基準に適合しない場合は段階未満に○印を記載し、別表第2に掲げる細区分に該当する措置について、取組状況及び取組状況の評価を記載をしない場合は「記載省略」に○印を記載すること。

第3 環境への配慮のための措置の概要

- 備考 1 設計上の基本方針、維持管理計画、設計及び維持管理計画上の制約等、特に配慮した事項を記載すること。
- 2 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例の一部を改正する条例（令和4年東京都条例第141号）第1条による改正前の条例第17条の4の規定によるエネルギーの使用の合理化に関する性能の目標値を設定すべき場合に限り、省エネルギーの性能の目標値及び措置を講じた結果を記載すること。